



子ども議員12名と水沢青年会議所の役員（後列中央は小沢市長）

～子どもから高齢者まで笑顔で暮らせる日本一のまちに～

## 『子ども議会』11月15日開催 ～私が議員になったら～

水沢青年会議所（千田將智理事長）は11月15日（土）、奥州市役所議場において「子ども議会」を開催しました。子ども議会は奥州市では初の試みで、小学5、6年生を対象に議員を募集、10月下旬に事前勉強会を開催し準備を進めてきました。

当日は、児童の保護者や市民が傍聴する中、12名の子ども議員が市長に対し質問を行ないました。質問では公園の整備、空き店舗の活用、グルメ祭りの開催、市営動物園開園、スポーツ活性化の取組み、大学誘致、医科大学付属病院誘致など、奥州市の未来を子どもならではの視点で提言しました。小沢市長も子どもたちに負けないよう、真剣に力強く質問に応えました。

一般質問終了後、子ども議会の意見書が提出され全会一致で採択されました。提案者の小野寺千里さん（水沢小5年）が「奥州市を子どもから高齢者まで笑顔で暮らせる日本一のまちになるよう要望する」とする意見書を小沢市長に手渡しました。

市議会では、教育厚生常任委員会が中心となり事前勉強会の講師を務め、「議会の必要性と仕組み」「議会のルールと手法」について分かり易く説明するなど、当日の成功に向けアドバイスを送りました。



事前勉強会の様子